

加太小学校だより

2022年

9月22日

No.10



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」の結果から

1学期に「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)、三重県作成のテスト「みえスタディ・チェック」(4・5年生対象)を行い、前学年までに学習したことの定着をはかりました。子どもたちは、全員が最後まで真剣に取り組み、教科に関する調査に無解答はありませんでした。また、6年生が受けた「全国学力・学習状況調査」では、学力面だけでなく、生活習慣や学習環境等に関する児童質問紙調査も行われました。

「全国学力・学習状況調査」の結果、算数と理科では全国の平均正答率を上回りましたが、国語では全国平均正答率に及びませんでした。「みえスタディ・チェック」の結果は、全ての教科(4年国算・5年国算理)において県平均正答率を大きく上回りました。一方で、問題別に見てみると、以下のように正答率の高い問題(強み)と正答率の低い問題(弱み)が明らかになりました。これらの結果を授業改善や今後の取組に活かしていきます。

教科に関する調査結果より

※数字は、県平均正答率(4・5年)、全国平均正答率(6年)との比較です。

※「○」は、強み「●」は、弱み

【国語】(4・5・6年)

○漢字や言葉の特徴や使い方に関することなど基本的な事柄が身についている。

・漢字を文の中で正しく使う。(4年 +24.5 5年 +17.3 6年 +9.8)

・主語・述語の関係(4年 +26.1 5年 +21.4)

・指示語(4年 +35.4)

・接続語(5年 +44.4)

○目的に応じて調べたことを整理する。(5年 +30.9)

●手紙の後付けを正しく書く。(5年 -12.9)

●登場人物の相互関係について描写を基に捉えたり、表現の効果を考えたりする。【読むこと】(6年 -40.2)



【算数】(4・5・6年)

○計算や図形の意味や性質について基本的な事柄を理解している。

・正しく計算する。(4年 +27.1 5年 +11.5)

・何倍かを求める(4年 +16.1)

・図形の意味や性質について理解する。(6年 +22.6)

○二次元表と棒グラフを関連付ける。(5年 +35.3)

●グラフから必要な情報を読み取る。(5年 -31.8 6年 -16.8)

●正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す。(6年 -23.8)



【理科】(5・6年)

○実験の構想や実験や観察結果を基に分析して考察したり、自分の考えをもったりする。(5年 +39.8 6年 +32.8)

○季節と生物の単元について理解している。(5年 +51.5)

●正しい操作方法を理解していない実験器具がある。

・方位磁針の操作方法(5年 -11.2)

・メスシリンダーの正しい使い方(6年 -20.0)

●電気の働きや光の性質の単元が弱い。

・正しい回路と回路に流れる電流の大きさ(5年 -21.0)

・日光が直進すること(6年 -27.8)



質問紙調査による結果より

※全国平均と比較して特に顕著な傾向があるものをあげました。
※「○」は、強み 「●」は、弱み



- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。
- 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりしたことがありますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- 勉強(国算理)は好きですか。
- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。
- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)
- 学校が休みの日に、1日当たりどれくらい勉強をしますか。
- 読書は好きですか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。



今後の取り組みについて



これらの学力調査の結果は、調査した学年だけのものではなく、全ての学年の指導の在り方に関わってくるものです。そこで、今回明らかになった本校の課題を全教員で共有し、全学年の毎日の授業において授業改善に取り組みます。また、質問紙調査から見てきた課題に対しても、学校、家庭、地域が連携・協力しながら取組を進めていきます。

☆「読む力」「書く力」をのばす。

- ・「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読む指導を行う。
- ・様々な本に親しみ、読書する習慣が身につくように読書指導に取り組む。
- ・数字や言葉、式を使って記述したり、条件に合わせてまとめたりする機会を増やす。

☆学習したことを日常生活や他教科等でも活用する。

- ・様々な場面で手紙を書く経験をさせる。
- ・他教科や生活の中にあるグラフや資料の読み取りを活用し、読み取った内容を説明したり、文でまとめたりする機会を多く持つ。

☆試行錯誤しながら考える時間、話し合う時間を増やす。

- ・自分で図形の作図の仕方(算数)や実験方法(理科)などを考える時間を増やす。
- ・自分の考えを筋道立てて説明する機会を増やす。
- ・ペアやグループ学習を取り入れ、対話のある授業づくりを行う。



☆基礎学力の定着をめざす。

- ・知識・技能の定着を図り、実験器具を正しく使えるようにする。
- ・繰り返し練習をさせる。(授業、はなまるタイム、家庭学習など)
- ・自主学習ノートを活用して、児童自らが課題を見つけ、主体的に継続して取り組む姿勢を育てる。

☆自己肯定感を高める取り組みを行う。

- ・異学年活動や学校行事などを通して達成感を味わわせる。
- ・全教職員で全児童を見て、認める声かけを行っていく。

